

平成 30 年度 横浜市学力・学習状況調査 結果報告と今後の課題

子どもたち一人ひとりが目標に到達しているのを調査する「横浜市学力・学習状況調査」が3学年を対象に11月に実施されました。先日、横浜市教育委員会から公表された調査（学習状況、生活・学習意識）の結果をお知らせいたします。

<学習状況調査の結果(通過率%)>

観点	国語				社会			数学			理科			英語			
	話すこと 聞くこと	言語事項	読むこと	書くこと	知識・理解	技能	思考・判断 ・表現	知識・理解	技能	見方や 考え方	知識・理解	技能	思考・表現	理解 (聞き取り)	理解 (読解)	表現	言語事項
本校	83.8	64.6	68.3	65.6	69.3	62.2	52.3	81.4	80.9	48.3	69.6	71.2	62.5	72.0	71.9	52.9	59.4
本市	81.9	55.0	66.0	60.4	64.8	58.2	48.5	71.4	68.8	37.1	65.8	63.0	53.7	69.1	64.5	49.2	49.4

全教科すべての観点で横浜市の平均全体正答率を上回っていました。また、基礎・基本の問題だけでなく、横浜市の学習状況調査で導入されている「活用問題」についてもすべての教科で横浜市の平均正答率を上回っていました。

<教科ごとの学習状況の結果>

国語

どの観点も市の平均通過率を上回りました。これは、90%以上の生徒が「国語は大切であり、社会に出たときに役立つ」と考えていることから、授業に真剣に取り組んだ結果だと思われます。特に「言語事項」「書くこと」については、互いに意見を述べ合ったり、話し合った意見をまとめたりした成果が表れ、3年間で大きく力をつけてきています。「読むこと」についても市の平均を上回りましたが、文学的文章に比べ、「古典」を少し苦手としている生徒が多いようです。今後も**根拠を明らかにしながら自分の意見を文章にまとめる**取組を継続して行いつつ、「**古典**」の学習を深めていきたいと考えています。

社会

どの観点も市の平均通過率を上回っていました。資料読み取りの活用問題では、市よりも、20%近く通過率が上回っていました。学習意識調査では、市と同じような傾向が本年度もみられました。2年時より、「社会科の勉強は大切だ」「そう思う」と答えた割合が増え、市を上回っていました。主体的な学習をさらに取り入れるなど、意欲をもって、社会的事象に対する興味を深められるようにさらに、取り組んでいきたいと思えます。

数学

どの観点も市の平均通過率を上回っていました。どの観点においても市の平均を10%程度上回ることができていました。2年時は4~7%でしたので、しっかりと力をつけている生徒が多いと考えられます。他の観点と比較すると、見方や考え方の正答率は低いため、積極的に説明し合う活動を行うなど**思考力・表現力を育成する**授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

理科

どの観点も市の平均通過率を上回りました。市の平均通過率を特に上回った観点は思考・表現の観点でした。実験の考察や思考実験など、科学的事象を分析・解釈するための言語活動への積極的な姿勢の成果がでました。一方で、思考・表現の観点は知識や技能の観点に比べると、達成率が低く、改善の余地があります。**主体的に授業に取り組める環境づくり**を推進し、探究的な学習活動を通して、思考力・表現力を育成する授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

英語

どの観点も市の平均通過率を上回りました。特に、「言語事項」においては市の平均を10%上回っており、文法や単語の知識がしっかりと定着しているようです。「読解」については、「言語事項」の定着が、内容的確に理解につながっていると考えられます。「聞き取り」については、要点をおさえて内容を聞き取る練習をさらに積み重ね、「表現」については、「話す」活動だけでなく、「書く」活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

<生活・学習意識調査の結果>

横浜市の平均と比較して少し違った傾向のものをいくつかとりあげます。

質問項目	旭中	市平均
学校の授業は分かりやすいですか。(「よく分かる」「だいたい分かる」の割合)	80%	66%
1日にどのくらい勉強しますか(塾や家庭教師は含まない)(「2時間以上」の割合)	66%	52%
1日に、携帯電話やスマートフォンを操作して、インターネットやメール、SNSをどれくらい使いますか。(ゲームの時間は除く)(「2時間以上」の割合)	32%	42%
1日にどのくらい睡眠時間をとりますか。(「6時間より少ない」の割合)	27%	16%
人とコミュニケーションをとることが好きですか。(「どちらかといえば、きらい」「きらい」の割合)	22%	17%
自分にはよいところがあると思いますか。(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の割合)	66%	72%

- 学習意識については、学年が上がるにつれ、とても向上しています。学校の授業が分かりやすいと感じるのは、学習に一生懸命取り組んでいることの表れと捉えられます。家での1日の勉強時間が「2時間以上」の生徒の割合が昨年度の20%から大きく増え、1日の携帯電話やスマートフォンの使用が「2時間以上」の割合が低いことから、目的意識をもって節制しながら生活している様子が見えてきます。睡眠時間が短い生徒が少なくないので、健康維持に気をつけて欲しいと思います。
- 「人とコミュニケーションをとることが好き」や「自分にはよいところがあると思う」というところに、まだ課題が見られます。学校では、親和的な集団づくり、主体的で協同的な学びを充実させ、自己肯定感・自己有用感を感じられるように取り組んでいきたいと思えます。